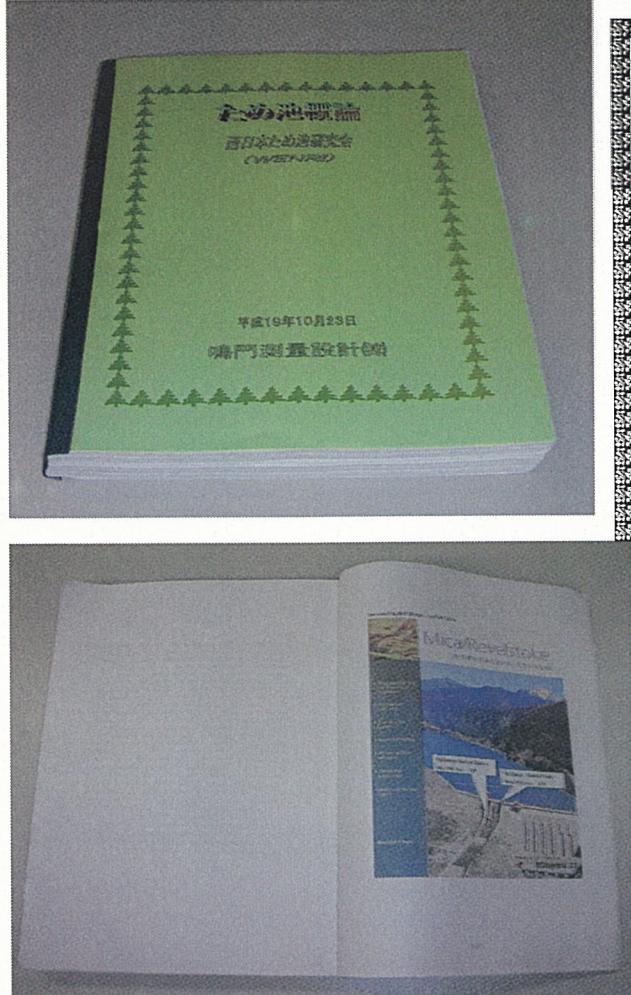


編集後記

- 1 表面遮水シート工法の(設計・施工マニュアル)を作成していて中心刃金工法を含めた{ため池概論}が完成した。ため池概論 p257ある。
- 2 シート工法の解析は多様な材料を完全遮水材と不完全遮水材に別けることからはじまる。次に工事中の降雨によってシート上面に発生する浸透力にともなう覆土の局所すべりチェックとため池完成後の堤体全体の安定計算を必要とする。国立高松高専の恩師春本名誉教授・向谷准教授(工学博士)の強力な御指導・御助言なくして今日の進展はなかつたと思う。
- 3 降雨による斜面崩壊の理論を発展させればシート上の覆土内のすべり解析が可能であることが分かりチャレンジ中に土壤物理学という非常に難しい分野の重要性に気がついた。不飽和透水係数と飽和透水係数を区別して斜面に降雨が降れば、覆土内の飽和度がどのように変化し、シート上面での浸潤線の形状と流出量がどのようになるかそして安全率の算定(PSRからSFを求める)まである程度目途がついて少しほんとうに安堵している今日この頃である。
PSRという新しいパラメータを導入することにより、容易に安全率(SF)を求められることは元ホージュンの溝渕氏の資料提供によるところが大きい。
- 4 この分野に入るきっかけは国営ため池の設計で元力ネボウ化成の高村氏のご指導を仰いだことが最初であった。三ツ星ベルトの加納氏・大城氏、ホージュンの水野(両)氏や溝渕氏、さらにはボルクレイジャパンの加藤氏やライフの平田氏そして岡三リビックの中村氏など蒼々たる方に大変な御助言を頂いた賜物と感謝している。
京都大学・島根大学・愛媛大学・香川大学の先生方にも、お忙しいところ勝手に押しかけ御助言を頂いた。難しい材料ですが将来の築堤土の不足問題を解決するため、諸氏のお力を借りて何とか前刃金工法に変わる代替工法の確立に努めたいと思っている。

H20.3.11 田中



主な構造内容	
・ため池アカカルト	1
・はじめに	2
・西日本ため池研究会への参加について	4
・ため池概論	14
1. ため池とは	14
1-1 改修に使う土とはどんな土?	16
1-2 施工材料の選定条件とは?	17
1-3 ため池の耐用年数は?	
2. ため池改修フローchart	
2-1 ため池の構造と名稱	
2-2 老朽ため池改修の時	
2-2-1 灾害復旧の時	
2-2-2 構築工事の時	
2-2-3 他の改修工事の時	
3. ため池現況診断調査概要	
4. 測量調査要領	
5. 計算工法概要	
5-1 前刃金工法	
5-2 中心刃金工法	
5-3 表面遮水工法	
5-4 グラット工法	
6. 特殊地盤工法工法概要	
7. 最近の研究開発	
8. ため池の水質・浄化対策	
9. 渦水流動問題と対策	
10. 参考文献	
11. 池の監視機械	
12. 池の付属設備	
13. 実施例写真	
14. 施工参考資料	
14-1 工法比較表	97
14-2 截水壁	106
①表面遮水工実験図面	106
②小水力発電図面	117
③地下ため池図面	122
14-3 深水調整の実際	123
14-4 小川請求	147
14-5 表面遮水シート工法の設計法	170
14-6 系構造結構によるため池改修工法	172
14-7 施工性人工池の実際	178
14-8 地盤改良工法の実際	202
14-9 フローポーログラム資料	229
14-10 あとがき	245
14-11 ホームページ	246
14-12 満足参考資料	261
14-13 中心刃金工法の実際	263
14-14 学術発表資料	267